

# 議会だより

## 第482回西ノ島町議会 6月定例会一般質問（要約）



議員 竹谷 実

質問 畜産振興について

「犬牧の復活と管理道の整備」を提案し、町長の所信を伺う。

回答 町長

本町の畜産業は、公共牧野を活用した放牧主体の経営を行っており、町内には19カ所の牧があり、現在11カ所が利用され870頭の牛と40頭余りの馬が放牧されている。

町では、例年、牧柵の更新や雑灌木の除去等公共牧野の整備を行い、牧野を利用した省労働・低コスト生産による繁殖経営を支援しているところである。

質問にあるように、畜産農家が放牧する牧は、原則として、放牧を行う町民の

居住地の集落単位で特定の牧が決められていることや、特定の利用し易い牧に利用が集中している傾向が見られ、過放牧による餌不足が生じるなどの事案がある。

こうした事案を解消する方策として、現在利用されていない犬牧を整備し、誰でも放牧できる牧として活用できれば、増頭対策や新規就農対策等を推進する一案と受け止めている。

また、公共牧野の利用状況を見ると、過放牧の牧、逆に放牧頭数が減少し余力のある牧もあり、牧野間での調整等が可能になれば、1牧野当たりの放牧頭数の平均化が図れ、更なる有効活用に繋がるものと思っている。

しかしながら、これまでも幾度か牧の利用調整等の機会はあったが、長年続いできた慣習を主張され、放牧における調整が進まなかったことは、議員もよく承知のことと思っている。

この牧の利用調整に理解を頂く事が最も難しく、この問題の解決なくして犬牧の復活の検討は、前に進まないものと考え

えているが、JAとも協力しながら、町全体の畜産振興に資するよう各地区の畜産団体とも牧の利用調整について粘り強く話し合っていきたいと思っている。

非常に難しい問題であるが、議員は、畜産業にも長年携わっているので、専門的な立場からのご意見やご協力をいただきたい。

なお、管理道を含めた犬牧の整備については、相当な費用がかかることが推測されるので、財政面や効果面、適正な補助事業等の課題について検討をおこない総合的に判断していく。



議員 東 義

質問 新型コロナウイルス感染症関連について

1. 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」について、西ノ島町のつかいみちについて伺う。  
また、「隠岐汽船」や「島前内航船」の支援について併せて伺う。

回答 町長

国の第1次補正予算1兆円分のうち7,100億円の配分が既に示され、本定例会で審議いただく一般会計補正予算に初回交付額4,600万円余りを計上している。

今回計上した交付金については、先に予算専決した「宿泊施設等継続支援給付金事業」、「わがとこ応援商品券・食事券発行事業」等に充て、新型コロナウイルス感染症によって、経営に影響を受けている町内の事業者を支援していく。

1次補正分の残額と2次補正分2兆円

の配分が順次示されることになると思われるが、施設の改修、地域経済活性化、衛生資材の購入・備蓄、オンライン環境の整備など「新しい生活様式」を意識した事業を計画する。

「隠岐汽船」への支援の考え方については、本町だけで決められる問題でないが、離島住民の生活を支える離島航路の重要性については、十分に認識をしている。

一方で、今回のような全国的大規模な感染症の影響により生じた経済的損失に係る支援を地方だけの負担で行うのは困難だと考えているので、国においても有効な対策が取られるよう全国離島振興協議会などを通じて要望活動を行う。

また、「島前内航船」については、3町村の負担金で運営している事業で、質問にある「支援」が何を指しているのか良く分からないが、3町村の負担金が増額になる可能性があるものと見込んでいます。



2. 感染症の第2波への警戒が呼びかけられている。罹患の疑いから、入退院までの流れをフローチャートなどを用いて、町民の誰でも簡単に分かるようにしてはどうか。

**回答 町長**

新型コロナウイルス感染症への対応については新しい知見等が加わり、日々変化してきた。

感染が疑われた場合、まずは、本人または家族から島根県の健康相談コールセンターに電話をしていただく。

そして、感染の疑いがあると判断された場合、指定された医療機関を受診して検体を採取し、検査の結果が陽性となった場合には、本土の医療機関へ搬送されて入院となる。

発症から10日間経過し、かつ症状軽快後72時間を経過するなどの基準を満たせば、退院となる。

感染の疑いから退院までは、すべて島根県において対応し、概ね取り扱いが固定されてきたので、先般、その流れを「町ホームページ」と「西ノ島チャンネル」にも掲載したところである。

取り扱いに関しては、今後も変化していく可能性が高いことから、固定観念を持ちやすい各戸配布等は、行わない方向

で考えている。  
取り扱いが変わった際には、「町ホームページ」と「西ノ島チャンネル」にて、随時お知らせするので、その都度、確認いただきたい。

3. 今後準備に取りかかる、西ノ島町の10年間の計画「第6次西ノ島町総合振興計画」の中に、「感染症対策」を入れてはどうか。

**回答 町長**

総合振興計画は、10年の期間の中で、町の目指す姿やその実現に必要な施策を明らかにし、町政運営の指針として定めるもので、個別具体の感染症対策についての記載とはならないが、意見を参考に、今後検討していく。



《町議会6月定例会の概要》

6月23日(火)

「本会議開会」

町長諸般の報告並びに提出理由概要説明  
議長諸般の報告

一般質問(2名)

報告案件(報告2案件「質疑」)

議案説明(議案5案件)

(承認5案件、質疑、討論、表決「全て原案のとおり承認」)

議案説明(議案15案件)

(条例等8案件、補正予算7案件、全て常任委員会に付託)

「委員会審査」

(※各委員会審査日程は次(次頁)のとおりに)

6月24日(水)

「委員会審査」

(※各委員会審査日程は次(次頁)のとおりに)

「本会議再開」

両委員会審査報告

他の委員会に対する質疑及び討論、表決

(議案15案件全て原案のとおり可決)

陳情(1案件「趣旨採択」に決定)  
閉会中の継続調査等の申出(了承)